

式中だより



平成30年（2018年）

2月20日（火）

発行 新島村立式根島中学校

04992（7）0017

<http://www.niijima.com/shikichu/>

361号

創立70周年から学んだこと ～式根島開島百年史から～

副校長

2月といえば中学・高校・大学の受験シーズンです。本校の3年生もそれぞれの進路に向けて大切な時期を迎えています。私たちの頃は都立高校受検組全員、現地受検で旧校舎の音楽室で行いました。今でも高校受験の緊張感は思い出すだけでもいやになるほどです。自分の進路に向けてひたむきに頑張る3年生を見て、下級生も何かを感じ取っていることと思います。この受験を通して、大きく成長してくれることを願っています。

さて、創立70周年を機に本校の歴史について本号では、式根島開島百年史で振り返ってみました。

式根島開島百年史より

【式根島中学校の校舎建設】 初代校長 浅沼元春先生著 「かこの横ばい」・他より

中学校開校当時の校舎は、明治42年建築で、その後、一棟増築したが、最初の建物は40年以上たっており、瓦は落ち、白ありがつき、雨漏りもあり、特に便所はひどくいたんでいたので、雨の日には、学校を休みにしたいぐらいである。

第一の仕事は、校地の選定であった。候補地としては、先ず、小学校の東側を交渉したが、当時は食糧難で、畑は手放し難い財産であった。東側の畑の交渉は思うようにならず、次いで、南側（現保育園）を交渉し、測量したが、東側が高い土手となるので校舎としては不適當であることが分かる。最後に、小学校と筋向かいの北側に白羽の矢がたった。しかし、交渉は難航し、ついには、村有地のカヤ場とは帆縫原に建てようとの意見も出た。しかし、教育百年の大計を思うとき、やはり、将来のためには、小学校付近に建設すべきだという案を通すことができるように、交渉を続行することになる。村有地との交換を前提にしてのことである。粘り強い交渉が続けられた。行政関係者、役員、顧問、建設委員、学校関係者などの熱意が一般島民に支えられ困難な仕事であったが、ついに、地主の理解を得ることができた。（中略）

昭和25年3月5日、青年団の早朝作業によって整地作業がスタートを切った。島民の奉仕作業が自発的に行われたが、モッコでかついだり、手グワで木の根を掘ったり、今では想像もつかないほどの苦勞であった。（後略）

開島百年史には、興味を引く内容がたくさん載っていました。私は式根島小学校長であった山本安治郎先生の「便所の経営」では、教師として思いを詰まらせました。

先人の方々の御苦勞や式根島の子供たちへよりよい教育を受けさせたあげたいという気持ちを改めて感じさせていただきました。この気持ちを胸に、式根島では小学校6年間、中学校3年間と区切るのではなく、「子供たちが輝き、島の未来に向けた9年間の新しい教育」を展開して参ります。

地区作品展の様子～御来場いただきありがとうございました～

《国語科》

1年生は「表現の美」、2年生は「科学の探究」、そして3年生は「時代の潮流」という字を書きました。各々が自身で課題を見付け、字の配置やバランスを意識して書くことができました。書写の授業中、真剣な眼差しで自分の書いた字を見つめるみんなの姿はとても格好良かったです。自分が創造したものを見つめ考え修正し、よりよいものに仕上げていく姿勢を今後も大切にしていけることを願っています。

《技術科》

技術では、1年生がペン立て、2年生がエコキューブラジオ、3年生が手押し車とプログラミングのフローチャートを展示しました。また、保育園児がのこぎりを使って作ったパズルも展示しました。それぞれの作品製作を通して、生徒たちは、生活の中にある技術に着目しています。

現在は、1年生は新たな木工作品の製作、2年生はロボット製作、3年生はプログラミング(ライントレース)の学習をしています。

《美術科》

1年生は「形を丸ごと感じてみよう(粘土)」、「願いや思いを込めた文様のデザイン(消しゴムはんこ)」、「絵文字がしゃべりだす(平面)」、2年生は「自画像～今を生きる私へ～(平面)」、「手作りに込める思い(木彫鍋敷き)」、3年生は「心に残る古都の風景(水墨画)」、「暮らしやすい町づくり(模型作品)」を出品しました。生徒たちはテーマについて考え、発想し、材料や用具を工夫し、試行錯誤のなか仕上げた力作となりました。

《家庭科》

1, 2年生は習得した技術を使い、日常生活で活用できるものを作りました。布やボタン選びから自分で行うことをねらいとしています。「製作することの喜び」を家庭科の授業を通して味わってほしいと願っています。3年生は10月に実施した保育園実習と幼児の学習で学んだことをまとめました。生徒たちは幼児の学習を通して自分自身の成長も感じる事ができたようです。



第66回東京都公立学校 美術展覧会について

2月13日(火)から2月18日(日)まで東京都美術館で行われていた美術展覧会に、本校から4名の生徒が出品されました。

【美術】3年

【書写】3年

【家庭分野】2年

【技術分野】1年



小中合同レク

2月14日の木曜日小学校で合同レクを行いました。当日天気は良かったのですが、風が強かったため小学校の体育館内で行いました。今回は紅組、白組に分かれてミニ運動会をやるということで、競技内容はドッチボール、借り物競争、ピンポン玉リレーの3つでした。事前に小学校の児童会と中学校の生徒会の役員が話し合って決めたものです。

担当教員もなるべく手出しせず、子供たち主体で企画・運営を進めていってもらったので当日はうまくいか不安な気持ちで見守っていましたが、どの競技もみんなとても盛り上がっていました。けがもなく、大成功の合同レクになったと思います。

児童会・生徒会の役員の皆さんありがとう、そしてお疲れ様。



バドミントン部 冬季大会に参加して



バドミントン部顧問

東京都中学生冬季バドミントン大会が行われ、ダブルスでは、1組が出場し、前大会の優勝者に半分以上の点数を奪う戦いをしました。また、シングルスでは、3名が出場しました。1ゲームを奪うような展開を見せたり、長いラリーを奪ったり、強豪校に半分以上の点数を取るなど、日々の練習の成果が見られました。今回の大会を通して、それぞれに課題が見えたので、その克服に向けて練習していきたいと思います。

また、今回の大会ではとても成長の見られる3名でした。試合内容もそうですが、試合以外の場面でも成長を感じました。東京遠征に慣れてきたこともあると思いますが、電車の乗り継ぎ等の移動、初対面の人との交流（練習や大会時）、準備や起床等の早めの行動等、多くの場面で自ら行動する姿が見られました。

生徒たちは、出発時に港で保護者の方、地域の方々の多くに手を振って見送られ、とても励まされています。今後とも応援よろしく願いいたします。

未来会議発表会のお知らせ

今年度の総合的な学習の時間の成果を下記の内容で発表いたします。お忙しいかとは存じますが、生徒の学習の成果をご覧にぜひお越しください。

日時:平成30年3月13日(火)5校時(13:25~)

場所:多目的室

内容:1・2年生「空き家の未来」、3年生「故郷・式根島のためにすべきこと」



波ようねりよ

技術科

続けること

昨年度の式中だよりの「波ようねりよ」から1年が経ちました。昨年度書いた内容は、ランニングを始め、続けること、皆さんも何か続けませんか？という内容でした。

あれから1年が経ち、毎日ではありませんが、ランニングを続けています。1年間続けてみてわかったことと続けることの楽しさを伝えられればと思います。

<続けてよかったこと>

- ・体調を崩さなくなった(体力がついた)
- ・地域の方と話す機会が増えた
- ・私に影響をされ、ランニングをする人がいた
- ・健康的な生活になり、読書の習慣まで身に付いた

<続けることで見えてきたこと>

- ・無理をすると体に異変が起きる
- ・変化を付けないと飽きる

1つのことを続けることで、自分自身にも周りにも影響があり、自分のやっていることでよい方向へ変化することの嬉しさを感じています。自分の健康のために始めたことがきっかけで、こんなにもメリットがあることが続けることで分かった1年間でした。

ぜひ皆さんも何かを続けて、楽しさを発見してみませんか？



3月の予定

生活目標 : 1年間を振り返ろう
保健目標 : 耳を大切にしよう
給食目標 : 感謝して食べよう

『式中だよりの』は、毎月20日をめどに発行していきます。

卒業式のご案内

この度、第71回 卒業式を下記により挙行いたします。

日時:平成30年3月16日(金) 午前9時30分 開式

場所:本校 体育館



2	金	式小6年生体験入学
5	月	朝礼、委員会
7	水	保護者会
8	木	奉仕活動(地域清掃)、染め出し磨き
9	金	交流活動(ゲートボール)
16	金	第71回卒業式
23	金	修了式・離任式
24	土	春季休業始

<4月の予定>

- 6(金)始業式・着任式・入学式
 - 9(月)発育測定
 - 10(火)内科検診
 - 12(木)歯科検診・歓迎会
 - 13(金)議案書討議
 - 16(月)生徒会朝礼、家庭訪問週間開始
 - 17(火)全国学力調査(3年)、保護者会
 - 20(金)生徒総会、家庭訪問週間終了
- ※上記以外の健診の予定は今後決定

※カラー版の式中だよりはホームページでご覧ください。